2020年
7月

京橋 おかげさま 通心

『はたらく』
就労移行支援事業所 きょうばし
正真会
『くらす』
生活訓練施設 加光
4

施設紹介

café Mahoroba

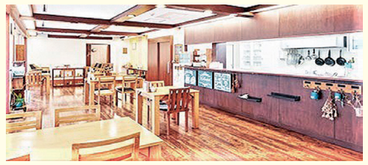
玄関口にある看板。キレイに咲くルリマツリのお花

「大和は国のまほろば たたなづく青垣 山籠れる 大和しうるはし」――こちらの歌は、『古事記』に登場する倭建命の作品です。この「まほろば」という言葉は「素晴らしい場所」「住みやすい場所」を意味する日本の古語。この歌は「大和の場所は国の中でも本当に素敵な場所なのだよ」という意味を示しています。

そう、ですから当店の「Mahoroba（まほろば）」という店名は、こちらの古語に由来をしています。地域の皆様にとって素晴らしい空間にしたい、ゆったりくつろげるカフェとしてご利用頂きたい、そうした想いがぎゅっと込められています。

刻下の感染症被害に伴い、当店は長らく休業をしておりましたが、6月から通常営業を再開しております。新型コロナ対策といたしまして、『店内の消毒・換気を徹底』『大阪コロナ追跡システムの登録』など、お客様に安心してご来店いただく環境をしっかりと整えております。7月からは店内イベント（えむカフェ）を再開し、9月には新メニューのお披露目を予定しております。一歩一歩、皆様と一緒に、前へ向かって歩ませて頂ければと存じます。

「Mahorobaはきょうばしのまほろば たたなづく人情 愛溢れる Mahorobaうるはし」――至福のあたたかな空間が広がる、カフェ・まほろば。これからの皆様のご来店を、心より楽しみにお待ちしております。


カフェまほろば店内

換気のために蚊帳を張って営業しております

☜
京橋のものづくり仙人さんからお手製の一輪挿しを頂きました。

☞
また、カフェまほろば前の植木の手入れをして下さいました。
いつもありがとうございます！

『目の色が変わる瞬間』

管理者　寺村　肇

お世話になっております。今年も半ばを過ぎ、梅雨明けが待ち遠しい今日この頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。営業を自粛していたｃａｆｅ Ｍａｈｏｒｏｂａも6月より通常営業を再開いたしました。ご来店いただくお客様からの温かいお言葉にとても勇気づけられました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

就労支援部門も6月より通常運営を再開、同時に新しく2名の職員を迎え、2カ月に及ぶ中断の遅れを巻き戻すかのように各種の支援を再開させています。その中でも、「企業見学会」は経営者の方の想いの詰まったお話や、社員様のご経験されたお話を直に拝聴し、また質問をさせていただき、参加した利用者の皆様や職員にも多くの学びと新たな気づきが得られる、大変貴重で素晴らしい機会となっております。まさに働くことを目指す者に与えるインパクトは甚大です。早い方であれば見学会を終えたその瞬間から目の色や表情・言動に変化が表れます。

経営者の熱い想いやそれに共感する社員の方々の言葉に触れる機会は、人を大きく変えるという現実を目の当たりにして、〝関わり方ひとつで人は変わることができる〟という真理を再確認することになりました。しかしその一方で、私たち支援者という立場や視点においては、ある種の疑念を抱かざるを得ません。それは、「企業見学会」に参加した者だけが目の色を変えているのではなく、「企業見学会」というイベントを通して彼らの目の色が変わる瞬間を捉えているだけではないか？私たち支援者が、日常の関わりの中で日々変化している彼らの一挙手一投足を捉えきれずに、日常の中に埋没させてしまっているのではないか？という疑念です。

恐らくこの疑念は真であり、私たち支援者としての現実を示していると思います。当法人の就労支援部門では、自社内に喫茶店や給食厨房を構え、経済活動を伴う実践業務を通じた訓練をその特徴としていますし、その中で就職を目指す仲間同士が切磋琢磨している訳ですから、誰かが就職して居なくなる現実によく出会う訳です。この状況下で目の色を変えない利用者はいないでしょう。むしろ、彼らの息遣いに耳を澄ませるだけの私たち支援者としての意識・感性が磨き足りないというのが現実でしょうか。

奇しくも「彼らの意識や行動の些細な変化を捉え、まるで薄紙をはがすかのような成長でも、それが支援者としての喜びとやりがい」という言葉を大切な先輩から頂きました。日常の中に埋没させず共に成長し、人の目の色が変わる瞬間に立ち会える喜びを胸に秘め、支援を続けてまいります。

地域がつながる わ プロジェクト
今月のイベント

10月より再開の予定です

「きょうばし」見学会のご案内

7月 9日(木)●10:00～12:00
7月30日(木)●10:00～12:00
（毎月第２・第４木曜日を予定）※今月は第５木曜です

上記日程にて、就労行支援事業所きょうばしの見学会を開催致します。ご利用をお考えの方、企業の皆様、職員応募をお考えの方など、どなたでもご参加いただけます。お申し込みは、お電話にて、またはFAX・メールにてご希望の日にち、お名前とご連絡先を記入しお送り下さい。
（※本件以外でこちらからご連絡することはございません。）

TEL 06-6357-7007
FAX 06-6357-6665
kyoubashi@kind.ocn.ne.jp
HPのお問合せメールフォームからも可能です

お待ちしております。

Check

企業見学会

就労移行支援事業所きょうばしの７月の企業見学会は株式会社バーテック様です。　www.burrtec.co.jp

法人理念

誰もが人として暮らし、人としての喜びを感じられる社会を創造します。
人の歩みを共に慶び、共に学び続けます。

正真会は SDGsの項目で次の持続可能な開発目標を掲げています

3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
8 働きがいも経済成長も

月刊「京橋 おかげさま 通心」
〒534-0024 大阪市都島区東野田町5-5-16
（法人本部）電 話 06-6351-8668（代表）
FAX 06-6351-3666
発　行　元●社会福祉法人　正真会
www.syoushinkai.com/
正真会ホームページ
発行責任者●寺村　肇
制作・編集●NPO法人 チャレンジステージ

ひと
京橋の「魅力びと」紹介

リンパ専門店
「サロン・ド・ポム」代表 藤原 智子 氏

salon-de-pomme.com

株式会社ポムスタイルは創業15年を迎え、ここの京橋店は6年となります。正真会さんとの交流は2年前ですね。OB、OGのはたらくイベントに誘われて参加したことがきっかけでした。福祉業界の皆様とのご縁を頂いて、学ばせて頂くこと、感銘を受けることが多くありました。正真会さんは本当に、皆様に寄り添ったサポートをされている印象です。真剣に相手と向き合って、その為に時間を惜しまず支援をされている。その志と、プロとしての姿勢は、とても素晴らしく、尊敬をしています。京橋の一員として、これからもぜひ、イベントに参加していきたいと思います。

京橋の街の印象は、ほかの方も言っていらっしゃるかもしれませんが、「人懐っこい」。本当にここに魅力があります。商店街は賑やかな場所ですが、夜遅くても安心。治安が急に悪くなるようなことは、まったくありません。24時間オープンしているパン屋さんもあるぐらいなのです。

だから、この京橋、「人がちゃんとつながる街」でもあります。15年前から同じ人がいて、しっかりとお互いを思いやっている。商店街の人と仲良くなれば、地域全体で子育てや子どものお世話をしてくれることもあります。それは古き良き光景で、今の社会にはあまり見られないものだと思います。人の絆が離れつつある今だからこそ、必要ですよね。

誰かとつながっている人は「助けて」とか「もうほんとたまらんわ」とか、そういう一言を伝えられる相手がいる、ということになります。そのようなつながりが、生きる糧になるのだなあと感じます。

京橋の人と同じように、体も同じ原理なのです。体はいろいろな場所が上手につながることで、健やかに、そして美しくなります。エステ関係はキレイになるとか痩身とか外面の美しさがメインになりますが、私たちは未病、予防医学的な「内面の健やかさ」から施術を行っています。中のつながりを良くするからこそ、自然と外も美しくなる。人の場合は、そのつながりは愛情とか思いやりによって行われますよね。京橋には、そういう温かさがしっかりあるから、中も外も健やかで美しい。営むのも、住むのも、本当に良い街なのです。

編集後記

◆7月の企業見学会を開催するにあたり、社長様から次のような言葉を頂きました。
「就労を目指す障害者の方に接し、お話をさせていただく経験は私も社員もないので、配慮事項やどういったメッセージをお伝えすることが最もご期待に応えられるのか、ぜひ教えて下さい。その日ご説明用のスライドも作成します。難しい字や表現等があれば何なりとご指摘下さい。良い機会にしたいです！」
――絶句しました。良い意味で。障害者というと、憶測・先入観・先見による敬遠・拒絶の反応が返って来る事が多い昨今。今回はその真逆。とても意欲的で豊かなご姿勢に感動しました。皆様の社風・意識・貢献度などが軽やかに想像できます。このような素晴らしい企業様との出会いに、深く感謝を致します。来月も多くの学びを得られると思います。今から非常に楽しみです。
◆今月もお読みいただき、ありがとうございます。

スタッフ紹介

入社　3年目
名前　田中 涼子
担当部署　就労移行支援事業所「きょうばし」就労支援員

正真会の門戸を叩いたのは2018年7月になりますから、もう2年ぐらい経ちます。私はこのような福祉の現場や事情をまったく知らなかったのですが、ほど近い身内に諸々の事情が生じまして、「この世界に飛び込もう！」と決心する事にしたのです。

これまで働いて来た業界とは全く違っていましたので、当初は実務を覚える事に必死でした。ですから、障害者の方へ向かうギャップや困惑というのは、ほとんどありませんでした。先入観・偏見というフィルターが無かったので、私は誰であっても分け隔てなく、しっかりと向かい合って、対等に接していました。

「何かあったら相談しよう」「いつも誰かが思いやりを持って気を掛けてくれる」、そういう環境というのが、とても大切なものだと感じます。時に意思疎通や業務方法を巡って利用者さんと衝突してしまう事もありますが、その場でゆっくり冷静に話し合って、しっかりお互いに納得する事が出来ています。それも、普段からの温かさ、親切と思いやりの環境があるからこそです。

利用者さんから「こういう風に言ってくれて助かった」と言って貰えるのが、本当に嬉しいですね。また、自分が先週言ったことを、今週その通りに改善されている姿を目にすると、心に迫る感動があります。

きょうばしは「働く」というリソースがある事が、何よりの強みです。現場・支援が大きなシステムとして循環しながら、社会と同じ技能経験を積める。そのような環境づくりを、これからも進めて行きたいと思います。また、ここの魅力をより多くの方に知って貰いたいですね。今、こちらの広報誌を持って営業に行くお話もしています。

ひとりでも多くの利用者さんが、「ここに来てよかった！」「働く事が生きがいに感じる！」「就労後もずっと繋がっていたい！」と思えるような場になるよう、私も精いっぱい、まっすぐに努力してまいります。

社長・社員の「働くとは？ 仕事とは？」

株式会社 ポムスタイル
代表取締役 藤原 智子 氏

出来る事を、少しずつ積み重ねて、成長していく。それが働くということだと思います。

私は予備校の事務から「旅行の添乗員」という職に就きました。全てひとりで責任を持って、しかもスムーズに行わなければならない職種です。やりがいは大きいのですが、本当に体力勝負の現場でした。途中、出産があって間が空き、再び社会に戻ろうとしたのですが、特別な資格や技能が無い。どうしようかと困りました。

女性は環境の変化が激しい生き物だと思います。結婚すると姓が変わるとか。嫁の立場とか、母の立場とか。そうした、とてもいろいろな変化がある中でも、社会と繋がっていたい、自分が成長を止めたくないという想いが、私の中には常にありました。

子供が成長してから、創業向けにパッケージ化された美容関係の商材を利用し、様々なバックアップを頂きながら、真剣に前進を続けました。経営はゼロからのスタートでしたが、「できるところまでやったらいいよね」、という感覚を大切にしました。何もかもプロになるまで何もしないとなると、延々と動けません。見切り発車的な勢いが、人生を動かすことがあると思います。走りだすと助けてくれる人が現れたり、理解者が表れたり、お客様にも助けて頂いたり。そのすべての歩みが、自分の成長に繋がって行ったのです。

昨日と今日、一年前と比べてどれだけ成長しているか。お金をただ貰うだけではなく、目標を持ち、今の環境で一歩を踏みしめながら、新しい価値と成長を創る。人と協調をして、人と心地良く活動をする。働くことの大切さは、それだと思います。この世界にはたくさんの会社があります。皆さんの頑張りを観て下さる環境が必ずあります。待っているのではなく、まず動くこと。登れる階段から登って行けば良いのです。

今月のひと　OB Mさん

きょうばしさんは、2015年ぐらいから利用を始めたと思います。恥ずかしい話ですが、当時は今以上に色々な事情や感情の波がありまして、自分ひとりで行動する自信が無く、母の職場に近い場所を選んだという感じです。

自分というものと真剣に向き合いたいと思いながら、厨房での掃除・清掃から始めましたが、本当に、最初は緊張でガチガチ、ほとんど誰ともしゃべれませんでした。ただ、とにかく頑張ってみて、働くということを本格的に経験できたことは、とても良かったです。

その後、初めての実習は吹田市の新・栄さんでした。「なんでも言うてや」と言って下さる、とても親切な会社でした。しかし、私はなかなか上手くコミュニケーションを取れませんでした。ここでも頑張り抜いたのですが、終わってから何かが外れてしまったのか、心身の調子を崩して入院してしまいました。

でも、それがかえって、良かったかもしれません。すごく気が楽になったというか、今までの経験を静かに、ゆっくりまとめて、自分と対話する時間を持てました。退院後は今までとは違ったすっきりした感覚がありました。

それでも感情や感覚の波は今に至るまであります。色々な人に様々な迷惑を掛けながら、それでも支えて下さって、今の私があります。働きながら介護職の資格を取り、今は介護事業部で高齢者の方のご自宅に訪問するサービスを行っています。１日７時間、週５日間の働きです。入居者さんが笑ってくれたり、「ありがとう、また来てね」と言って下さったりするのが、本当に嬉しいです。この働きの幅をもっと増やして行って、自分の中にある波を鎮め、安定した生活をしっかり手でつかみ取って行きたいです。

これまでの働きを通じて、最近、つくづく感じている事があります。それは、自分が笑顔にならないと、周りも笑顔にならないという事です。この気持ちは、これからも大切にしていこうと思います。

正真会サポートチーム「SST」Vol.4

NPO法人
チャレンジステージ
代表理事
山下勇雄氏

正真会様において、事業所を利用される皆様が、豊かな人生を目指す為の充実した支援環境を得られること。そして、その環境が管理者様・職員の皆様にとっても「物心両面の働く幸せ」に繋がること。それが、私共の事業における確固たる使命だと考えております。

www.challesta.com

「その扉、叩いてみませんか？」

現スタッフ及び利用者の皆様へのサポートとして、あらゆる分野で技能経験を積んだ者が関わりを持つ。それが正真会様の魅力です。弊社もそのチームの一員となります。ここまでの厚いサポート体制は他に見受けられません。管理者の寺村さんは、「充実した環境を通じて心地良く働いて頂きたい」「One Teamとなって喜びを共有し、達成感と成長を味わって頂きたい」「キャリアアップの早期実現をして頂きたい」といった熱い想いをお持ちです。「支援者」という職業は決して簡単な歩みではなく、むしろ困難な道のりです。しかしその分、やりがいや喜びが大きく、豊かな躍動感に満ちています。「あなたに出会えて、本当によかった！」と心の底からおっしゃって頂ける経験は、とても貴重です。そのような大きな価値に関心をお持ちで、共感ができる方は、ぜひ正真会さんの扉を叩いてみて下さい。イベント参加など、どのような入口でもOKです。どうぞお気軽にお問合せ下さいませ。皆様との新しい出会いを、楽しみにお待ちしております。

Check 企業見学会

和研工業株式会社様　http://wakenkk.jp/

アイスクリーム通販部署の見学

声紋分析体験

アイスクリーム詰め合わせ体験

事務所の見学

松下社長のお話

元きょうばし利用者の方のお話

職員様のお話

最後に記念撮影

6月18日、和研工業株式会社様の企業見学会を開催しました。利用者の皆さんは普段あまり着用しないスーツと革靴のスタイルで、少々のぎこちなさと緊張感のある訪問と相成りました。管理者挨拶を経て、各自己紹介タイムへ。ここでは事前の用意と練習の成果が披露されました。

松下弘社長から緊張をほぐす優しい会社概要のお話を頂いてから、社内見学へ。アイスクリーム通販事業部の梱包・発送作業と事務所内の説明後、アイスクリームの見本を所定の容器へ詰める職場体験を実施。皆さんや支援者は必死に試行錯誤を重ねながら、充実の取り組みを行いました。

職場体験後は、声紋分析の体験です。利用者の方から、「これまで自分の長所や、潜在的な長所というものを適切に評価して頂ける機会が無かったので、こういう機会は本当に凄く嬉しい」といった声が聞かれました。皆さん、大変喜ばれておりました。

次に、2年前まで正真会きょうばしで利用されていた先輩のお話を拝聴。「もしかしたら、これは自分の未来に実現する話かもしれない」という想いが、それぞれの表情に浮かんでいました。現職員様のお話では、「入社後の苦悩からどのようにして脱却したか」「それが今のやりがいにどう繋がっているか」という切実な内容が語られました。皆さんが深い感銘を受けており、大変貴重なお話でした。

松下社長が、最後にこう語られました。「自分の強みを知り、活かす。会社に貢献できる事をする。自分の為だけという軸ではなくて、相手も一緒によくなるという軸が大事。楽しく仕事をしましょう」。このような明るく、そして力強く勇気を頂けるお話に対して、皆さんの表情は真剣そのもの。未来を見つめる毅然としたまなざしに、頼もしさを覚えました。

帰り道の利用者の皆さんは饒舌で、満足感や今後の意欲を話されておりました。1回であっても、見学会がどれほど貴重な機会となるか、その効果は計り知れません。皆さんの未来の糧となる事が出来て何より、喜ばしい限りです。

今月の利用者さん　Eさん

きょうばし利用は、2019年４月から。学校の実習がきっかけでした。厨房の作業に興味があったので、利用をすると決めたのです。利用前からずっと緊張していて、自分にできるだろうかと不安だったのですが、利用してみて本当に良かったと感じています。マナーや仕事のことをちゃんと学べますし、何より、いろいろと皆様からアドバイスをもらえているというのが、自信につながっています。

今、私は厨房で訓練をしています。７月からは喫茶での作業にチャレンジしてみたいので、そちらの次のステップへ向けて、いろいろ相談をさせて頂いています。喫茶の挑戦は、接客業をやってみたい、コミュニケーション能力を上げたい、という想いがあります。作業自体は苦にはならないと思います。家でも家事をやっていますし、自分でご飯を作る事もこなしています。

お客さんの前に出ることは、やはり緊張すると思います。それでも仕事の幅を広げたいという想いがありますし、「自分に何ができるのか」ということを、もっと追ってみたいという気持ちが、今の私にはあります。苦手な分野にも挑戦します。自分の長所は、あきらめない事だと思っています。

最終的には農業の仕事がしたいかな。田舎の生活に入って、自分の空間を作っていきたい。もともと自然が好きなのです。中型のバイク免許を取って、体力もつけて。それから、しっかり周囲の人たちとコミュニケーションを取って。私の夢です。

えむカフェ

健やかな暮らしを応援する「えむカフェ」に、あなたも参加してみませんか？
お茶を飲みながら、心や体の健康について、暮らし役立つアイディア話など、井戸端話ならぬ"えむばた話"で盛り上がりましょう！

「やっぱり聞きたいコロナの話」
医師 急部 周さん（いんべ診療所）

「腰痛のお悩みに答えます。」
理学療法士 信川裕資さん（ツヂ病院）

申込不要　参加費無料　途中参加OK

令和2年7月16日（木）
14:00～15:30
場所：Cafe まぼろば
都島区東野田町5-5-1

主催：えむカフェ実行委員会

コロナ対策として、オンラインでの参加が可能になりました。

Zoomミーティング
【ミーティングID】
944 8539 5968
【パスワード】
641916

「企業見学会の感想」

今回の和研工業様の見学会、こちらも本当に為になりました。アイスクリーム通販の商品をセットする際、受けとった方が開けた時にどう思うか。そのような視点で考えたことは、今までありませんでした。皆様の親切な気持ちがこもっていて心に響きました。職員さんは、つらいことがあっても一生懸命頑張っていらっしゃいました。そのお姿に感銘を受けます。たくさんのことを学ばせていただきました。

見学会は今後もたくさん行きたいです。職場体験もいろいろやってみたい。こういう挑戦の心を持てるようになったのが、本当にうれしいです。